



R コマンド

この章では、R で始まる Cisco NX-OS イーサネット コマンドおよび仮想イーサネット コマンドについて説明します。

rate-limit cpu direction

インターフェイスの Packet Per Second (PPS) のレート制限を設定するには、**rate-limit cpu direction** コマンドを使用します。デフォルト値に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

rate-limit cpu direction {both | input | output} pps pps_value action log

no rate-limit cpu direction {both | input | output} pps pps_value action log

構文の説明

both	入力および出力の最大パケット レートを設定します。
input	最大入力パケット レートを設定します。
output	最大出力パケット レートを設定します。
pps pps_value	パケット/秒を指定します。有効な範囲は 0～100,000 です。
action	アクションを記録することを指定します。
log	指定されたレート制限値以上の PPS 値になると、syslog メッセージを書き込みます。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、インターフェイスの最大入力パケット レートを 3 に設定し、syslog メッセージのロギングをイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/5
switch(config-if)# rate-limit cpu direction input pps 3 action log
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config	実行システム コンフィギュレーション情報を表示します。

remote hostname

リモート マシンのホスト名を設定するには、**remote hostname** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

remote hostname *host-name* [**port** *port-num*] [**vrf** {*vrf-name* | **default** | **management**}]

no remote hostname

構文の説明

<i>host-name</i>	リモート ホストの名前。最大 128 文字の名前を指定できます。
port <i>port-num</i>	(任意) リモート ホストの TCP ポートを設定します。指定できるポート番号は 1 ~ 65355 です。
vrf	(任意) 使用する Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティングおよび転送) インスタンスを指定します。
<i>vrf-name</i>	VRF 名。名前は最大 32 文字の英数字で、大文字と小文字が区別されます。
default	(任意) デフォルトの VRF を指定します。
management	(任意) 管理 VRF を指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

SVS 接続コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、リモート マシンのホスト名を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# svs connection SVSConn
switch(config-svs-conn)# remote hostname vcMain
switch(config-svs-conn)#
```

次に、リモート マシンのホスト名のコンフィギュレーションを削除する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# svs connection SVSConn
switch(config-svs-conn)# no remote hostname
switch(config-svs-conn)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
remote ip address	リモート マシンの IPv4 アドレスを設定します。
remote port	リモート マシンの TCP ポートを設定します。
remote vrf	リモート マシンの仮想ルーティングおよび転送 (VRF) のインスタンスを設定します。
show svx connections	SVS 接続の情報を表示します。
svx connection	SVS 接続をイネーブルにします。

remote ip address

リモート マシンの IPv4 アドレスを設定するには、**remote ip address** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
remote ip address ipv4-addr [port port-num] [vrf {vrf-name | default | management}]
```

```
no remote ip address
```

構文の説明

<i>ipv4-addr</i>	リモート マシンの IPv4 アドレス。形式は、 <i>A.B.C.D</i> です。
port <i>port-num</i>	(任意) リモート ホストの TCP ポートを設定します。指定できるポート番号は 1～65355 です。
vrf	(任意) 使用する Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティングおよび転送) インスタンスを指定します。
<i>vrf-name</i>	VRF 名。名前は最大 32 文字の英数字で、大文字と小文字が区別されます。
default	(任意) デフォルトの VRF を指定します。
management	(任意) 管理 VRF を指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

SVS 接続コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、リモート マシンの IPv4 アドレスを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal  
switch(config)# svs connection SVSConn  
switch(config-svs-conn)# remote ip address 192.0.2.12  
switch(config-svs-conn)#
```

次に、リモート マシンの IPv4 アドレスのコンフィギュレーションを削除する例を示します。

```
switch# configure terminal  
switch(config)# svs connection SVSConn  
switch(config-svs-conn)# no remote ip address  
switch(config-svs-conn)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
remote hostname	リモート マシンのホスト名を設定します。
remote port	リモート マシンの TCP ポートを設定します。
remote vrf	リモート マシンの仮想ルーティングおよび転送 (VRF) のインスタンスを設定します。
show svx connections	SVS 接続の情報を表示します。
svx connection	SVS 接続をイネーブルにします。

remote port

リモート マシンの TCP ポートを設定するには、**remote port** のコマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

remote port *port-num*

no remote port

構文の説明	<i>port-num</i>	リモート ホストの TCP ポート。指定できるポート番号は 1～65355 です。
-------	-----------------	---

コマンド デフォルト	なし
------------	----

コマンド モード	SVS 接続コンフィギュレーション モード
----------	-----------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、ライセンスは必要ありません。
------------	-------------------------

例	次に、リモート マシンの TCP ポートを設定する例を示します。
---	----------------------------------

```
switch# configure terminal
switch(config)# svl connection SVSConn
switch(config-svl-conn)# remote port 21
switch(config-svl-conn)#
```

次に、リモート マシンの TCP ポートのコンフィギュレーションを削除する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# svl connection SVSConn
switch(config-svl-conn)# no remote port
switch(config-svl-conn)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	remote hostname	リモート マシンのホスト名を設定します。
	remote ip address	リモート マシンの IPv4 を設定します。
	remote vrf	リモート マシンの仮想ルーティングおよび転送 (VRF) のインスタンスを設定します。
	show svl connections	SVL 接続の情報を表示します。
	svl connection	SVL 接続をイネーブルにします。

remote vrf

リモート マシンの仮想ルーティングおよび転送（VRF）のインスタンスを設定するには、**remote vrf** コマンドを使用します。

```
remote vrf {vrf-name | default | management}
```

構文の説明

<i>vrf-name</i>	VRF 名。名前は最大 32 文字の英数字で、大文字と小文字が区別されます。
default	デフォルト VRF を指定します。
management	管理 VRF を指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

SVS 接続コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、リモート マシンの VRF を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# svr connection SVSConn
switch(config-svs-conn)# remote vrf default
switch(config-svs-conn)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
remote hostname	リモート マシンのホスト名を設定します。
remote ip address	リモート マシンの IPv4 アドレスを設定します。
remote port	リモート マシンの TCP ポートを設定します。
show svr connections	SVR 接続の情報を表示します。
svr connection	SVR 接続をイネーブルにします。

revision

Multiple Spanning Tree (MST; 多重スパンニング ツリー) 領域設定のリビジョン番号を設定するには、**revision** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

revision *version*

no revision *version*

構文の説明	<i>version</i>	MST リージョン設定のリビジョン番号。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
-------	----------------	--

コマンド デフォルト	リビジョン 0
------------	---------

コマンド モード	MST コンフィギュレーション モード
----------	---------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン 同一の VLAN マッピングおよび名前を持つ 2 台以上のスイッチは、設定リビジョン番号が異なる場合には、異なる MST 領域にあると見なされます。



注意

設定を間違えるとスイッチが別の領域に配置されてしまう可能性があるため、**revision** コマンドを使用して MST 領域設定のリビジョン番号を設定する場合は注意してください。

例 次に、MST 領域設定のリビジョン番号を設定する例を示します。

```
switch(config)# spanning-tree mst configuration
switch(config-mst)# revision 5
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show spanning-tree mst	MST プロトコルに関する情報を表示します。

